

飯山 由貴 『生きている百の物語』 開催のご案内

展覧会名：飯山 由貴 『生きている百の物語』

会 期：2020年7月11日（土） - 8月16日（日）

- ・オープニングレセプションは開催致しません。
- ・会期中は、水・木・金・土 12-19時、日 12-17時のオープンとなります。
- ・定休日：月火祝

会 場：WAITINGROOM（〒112-0005 東京都文京区水道2-14-2 長島ビル1F）

WAITINGROOM（東京）では、2020年7月11日（土）から8月16日（日）まで、飯山由貴の個展『生きている百の物語』を開催いたします。飯山は、他者の制作した記録物や話された言葉を起点に個人と社会/歴史との関係を考察し、その過程で汲み上げられていくドキュメンタリーと作家自身が見る世界の交差点を、写真や映像、実際の記録やそれにまつわるテキスト、オブジェなど、それらを組み合わせさせたインスタレーション作品を通して表現しています。本展で展示する作品は、2016年の瀬戸内国際芸術祭で発表した『生きている百の物語』を、タイトルは『生きている百の物語』に変更し、ギャラリー内に再構成・再展示します。瀬戸内の島々に住む人々から集めた「不思議な話」が書かれた複数枚のパネルと、取材を通して注目することになった男性が20年以上行っているある行為を記録した映像をデュアルスクリーンに投影した作品が、一つのインスタレーション作品として展示されます。

本展は、飯山由貴が参加するヨコハマトリエンナーレ2020（7月17日から開催予定）と、同時開催で企画された特別個展となります。都内では初めて展示される『生きている百の物語』を、この機会にぜひご覧下さい。



瀬戸内国際芸術祭2016・展覧会風景（会場：宮浦ギャラリー六区・直島 撮影：加藤健）

作家・飯山由貴について

1988年神奈川県生まれ。2013年に東京藝術大学大学院・美術研究科・油画専攻を修了。現在は神奈川県と東京都を拠点に活動中。近年の展覧会に、2017年個展『Words coming out of the wards』（ARTHUB三樹荘、福岡）、グループ展『コンニチハ技術トシテノ美術 Nice to meet you ARTECHNIK』（せんだいメディアテーク、宮城）、グループ展『MOT Satellite - 往来往来 - 東京都現代美術館サテライツプロジェクト』（清澄白河エリアの各所、東京）、2016年個展『瀬戸内国際芸術祭2016・アーティスト in 六区 2016：Vol.1 飯山由貴：生きている百物語』（宮浦ギャラリー六区、直島）、グループ展『歴史する！ Doing history!』（福岡市美術館、福岡）、2015年個展『APMoA Project, ARCH vol.16：飯山由貴 Temporary home, Final home』（愛知県美術館、名古屋）、グループ展『戦争画STUDIES』（東京都美術館、東京）、2014年個展『あなたの本当の家を探しにいく / ムーミン一家になって海の観音さまに会いにいく』（WAITINGROOM、東京）などが挙げられます。2020年7月より横浜美術館で開催されるヨコハマトリエンナーレ2020に参加予定で、新作の映像インスタレーションを出品します。

↓<次頁> 展覧会について（続き）

アーティスト・ステートメント

『生きている百の物語』2016年

3チャンネル・ビデオ・インスタレーション

転写した66枚のパネル、ノート

直島をはじめとする瀬戸内海の島々で「これまでに不思議な体験や変なできごとはありましたか？」と問いをなげかけて収集した話が66話展示されている。鑑賞者はノートに思い出した自らの経験を記入することもできる。

この作品を制作した2つの動機には、2013年から制作していた、自分の妹が持っていた幻聴や幻覚を契機とした作品の影響がある。病気だとは「診断されない、されていない」人が、何か変わった物事を見聞きした経験の行き先が気になり、それを聴いてみたいと思ったことと、直島に住む2人の女性の経験を紹介するための森（他の物語）をつくることだった。

しかし、話を聴き集める中で出会った、一人の男性の経験を大きくとりあげることになる。

彼が20年以上行っている、ある行為の経緯と、それについての感情を「字幕」としてスクリーンに投影している。

別のスクリーンには、アイヌの神話「猫の神様になった少年」の語り、および、シーシュポスの神話についてのギリシャ人の男性と作家のすれ違いの会話を、直島と向島で撮影した映像や、地元の人が作成した新聞記事のスクラップブックの映像に重ねている。

飯山由貴

瀬戸内国際芸術祭での展覧会のドキュメント記事：<http://benesse-artsite.jp/story/20160819-647.html>



瀬戸内国際芸術祭2016・展覧会風景（会場：宮浦ギャラリー六区・直島 撮影：加藤健）

飯山 由貴 (いいやま・ゆき)

1988年 神奈川県生まれ
現在神奈川と東京を拠点に活動中

学歴

2013年 東京藝術大学大学院美術研究科油画修了
2011年 女子美術大学芸術学部絵画学科洋画専攻卒業

職歴

2016-2019 東京藝術大学大学院美術研究科油画技法材料研究 非常勤講師

個展

2017
Words coming out of the wards – ARTHUB三樹荘 (福岡)

グループ展 『歴史する！ Doing! history!』 2016年、展覧会風景 (福岡市美術館、福岡)

2016
瀬戸内国際芸術祭2016・アーティスト in 六区 2016 : Vol.1 飯山由貴：生きている百物語 – 宮浦ギャラリー六区 (直島)

2015
APMoA Project, ARCH vol.16 : 飯山由貴 Temporary home, Final home – 愛知県美術館 (名古屋)
飯山由貴個展 – アートフェア東京2015・WAITINGROOMブース (東京国際フォーラム)

2014
あなたの本当の家を探しにいく / ムーミン一家になって海の観音さまに会いにいく – WAITINGROOM (東京)

2013
湯気 けむり 恩賜 – 実家 JIKKA (東京)

2011
installation plan – ginza gallery jyoshi (東京)

主なグループ展

2020
ヨコハマトリエンナーレ2020 『Afterglow - 光の破片をつかまえる』 - 横浜美術館 (神奈川)
新収蔵品展 (近現代美術) - 福岡市美術館 コレクション展示室 近現代美術室B (福岡)

2017
世界の集め方 – 鞆の津ミュージアム (広島)
NEWSPACE – WAITINGROOM (東京)
コンニチハ技術トシテノ美術 Nice to meet you ARTECHNIK – せんだいメディアテーク (宮城)
MOT Satellite - 往来往来 – 東京都現代美術館サテライツプロジェクト・清澄白河エリアの各所 (東京)
history in art / pop up show at MKG – MAHO KUBOTA GALLERY (東京)

2016
歴史する！ Doing history! – 福岡市美術館 (福岡)
飯山由貴 ワークショップ+リサーチ プロジェクト 「ありのままごと」 – 秋田公立美術大学ギャラリー-BIYONG POINT (秋田)

2015
戦争画STUDIES – 東京都美術館 (東京)
躊躇 – figure 17-15 cas (東京)
Post-Narratives: 蒐集家としての芸術家 – namGallery (東京)

2014
アラフドアートアニュアル2014 – 福島市民家園 (福島)
第二回 2 8zaki 海浜博覧祭 – 旧玉ノ井旅館 (福岡)
SUMMER GROUP SHOW -FROM NOW ON- – WAITINGROOM (東京)
Identity X – nca | nichido contemporary art (東京)
First Attacks! – Space Wunderkammer (東京)

↓ <次頁> 作家略歴 (つづき)



主なグループ展（つづき）

2013

テント村 – art & river bank（東京）

28zaki 海浜博覧祭 – 旧玉ノ井旅館（福岡）

有志展 Pre Show Toride 2013 – 東京藝術大学取手校地（茨城）

2012

ワタラセアートプロジェクト2012 PARADE – 日光市足尾町など（栃木）

RinnePlatz – Gallery Conceal（東京）

戦車の中を想像する – 藝祭 東京藝術大学（東京）

群馬青年ビエンナーレ2012 – 群馬県立近代美術館（群馬）

地獄の品格 ゲルセミウム・エレガンス – 東京藝術大学（東京）

2011

GTS 隅田川新名所物語2011 – 隅田公園リバーサイドギャラリー（東京）

作品は、ここにあった 現代アートの考古学 - ginza gallery jyoshibi（東京）

アートアワードトーキョー丸の内2011 – 行幸地下ギャラリー（東京）

女子美スタイル・最前線2011 – BankArt Studio NYK（神奈川）



個展『APMoA Project, ARCH vol.16 : 飯山由貴 Temporary home, Final home.』

2015年、展覧会風景（愛知県美術館、愛知）

出版物

『あなたの本当の家を探しにいく/ムーミン一家になって海の観音さまに会いにいく』2014年9月、WAITINGROOM

『湯気 けむり 恩賜 ノート』2013年9月、自費出版

展覧会図録

『APMoA Project, ARCH 2012-2017』カタログ、2019年3月、愛知県美術館

『コンニチハ技術トシテノ美術』カタログ、2018年4月、T&M Projects

『戦争画STUDIES』カタログ、2017年、戦争画STUDIES展実行委員会

『瀬戸内国際芸術祭2016』カタログ、2017年6月、瀬戸内国際芸術祭実行委員会

『歴史する！Doing history!』カタログ、2017年3月31日、福岡市美術館

第4回都美セレクトショングループ展、カタログ、2016年、東京都美術館

『APMoA Project, ARCH vol.16 飯山由貴「Temporary home, Final home」』、ブローチャー、2015年8月、愛知県美術館

『アートフェア東京2015』カタログ、2015年3月18日、アートフェア東京実行委員会

パブリックコレクション

福岡市美術館

同時開催の展覧会：

ヨコハマトリエンナーレ2020

『AFTERGLOW 光の破片をつかまえる』

会期：2020年7月17日（金） - 10月11日（日）

会場：横浜美術館・プロット48（神奈川）

アーティスティックディレクター：ラクス・メディア・コレクティブ

詳細：<https://www.yokohamatriennale.jp>

※本展に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。

WAITINGROOM（代表：芦川朋子）

住所：〒112-0005 東京都文京区水道2-14-2 長島ビル 1F

営業時間：水木金土 12-19時・日 12-17時

定休日：月火祝

Tel：03-6304-1877 Eメール：info@waitingroom.jp

Web：<http://waitingroom.jp>